横須賀災害ボランティアネットワーク横須賀市役所との懇談会

今年度、横須賀市市長室に危機管理課が移管されたことにより、横須賀市の防災関係の取り組みに対しての意見等を伺いたいという事で横須賀市市長室長(健康部コロナワクチン担当）井上氏から申し出があり、2022年5月16日15時～市役所にて市社協とともに意見交換の場に出席した。

出席者：横須賀市　市長室長ー井上　透　　市長室次長・危機管理課長ー木村　兼一
危機管理課　計画・啓発課　係長ー川尻　良太
横須賀市社会福祉協議会　事務局長-加藤　信義　　事務局次長ー松尾　健一
横須賀災害ボランティアネットワーク
代表ー岩間　道夫　副代表ー清水　幸次・鈴木　正　会計-伊藤　美香子

冒頭井上室長から今まで横須賀市の防災への取り組みはやや積極性に欠けている面があると感じているので、日頃から防災関係に取り組んでいる皆さんから意見を聞いて今後の参考にしたい旨の挨拶がされた。

その後災害ネット岩間代表から横須賀災害ネットが取り組んでいる災害ボランティアコーディネーター講習会・ボランティアセンター立ち上げ訓練、東日本大震災時に横須賀からのボラバス運行、各種災害支援、寒冷期宿泊体験訓練、福島からの避難者支援事業『よこすかしゃべり場』の実施等を説明した。また災害時における『災害ボランティアセンターの設置に等に関する協定』が横須賀市と社会福祉協議会、社会福祉協議会と横須賀災害ボランティアネットワークで取り交わされていること及び横須賀市・社会福祉協議会・災害ボランティアネットワークの3者で横須賀市災害時ボランティアセンター運営に関する検討会が定期開催されていることを説明した。

続いて清水副代表から神奈川災害ネットの概要(10周年含む）と取り組みを説明した。

・災害が発生しボランティアが応援に来た時いかにして素早く、効率的に処理をするかが重要なのでその対応を日頃からしておく必要がある。
・災害が発生した場合人材・物資、情報、資金をどうするかが問題である。(パソコンその他)
・今コロナを含めてボランティアをスムースに処理するには、平時からの事前登録制や、ICTを活用したSVC運営（ニーズ対応、ボランティア予約受付等）を行わないと到底間に合わない。どういうシステムを使用するかまだ統一されてないが、横須賀だけでもやれるところは実施する必要がある。

また、鈴木副代表、伊藤会計からも、何時も顔合わせをしているが役所の係は毎年のように担当者が変わり発展性、継続性の面で難しいと感じるところもあるため有効な会議となるようにしたい。

等々の意見が出された。

井上室長から本日の意見を見極めて出来る問題から対応を検討していきたい、今後もこのような会議の場を開催して、実のある防災活動に結び付けたい旨の応答がされた。

以　上